

耳鼻科用診療椅子 EMC-Ⅲ

* 【警告】

- ・ 操作中は本装置の可動部に身体や衣服を巻き込まないように患者の姿勢に注意すること。[怪我や本装置の破損・故障等のおそれがある。]
- ・ 支頭器(ロックレバー・調整ハンドル)のロックとロック解除する時は、手や指を挟まないように注意すること。[怪我や本装置の破損・故障等のおそれがある。]
- ・ 本装置を上下動させる場合は、アンダーカバーの上に子供が足を乗せないように注意すること。[怪我や本装置の破損・故障等のおそれがある。]

** 【禁忌・禁止】

- ・ 移動の際は、電源コード及びフットスイッチを本体から外すこと。
- ・ 移動の際は、アームレストアーム及びステップ以外の部分を持たないこと。[リアカバー等を持つと破損や怪我をするおそれがある。]

** 【形状・構造及び原理等】

1. 構造

本装置は、昇降モータを搭載した椅子本体、支頭器、回転駆動部で構成されている。

2. 形状



3. 原理

椅子本体は、昇降モータによりシートが昇降する。リクライニングは、最大 90° 傾斜する。また、バックレスト内部にはガスピリングを内蔵し、起き上げ時にはこのガスピリングの反発力で戻る。椅子の回転は、手で 360° 回転する。支頭器は、回転ロックレバーで解除／調節し、固定する。

** 4. 電氣的定格

定格電源：AC100V
電源周波数：50/60Hz
電源入力：260VA

5. 寸法及び質量

1) 寸法

560mm(幅)×720mm(奥行)×1700mm(最高時の高さ)
ベース直径：φ610mm
リクライニング水平時(支頭器部分含まず)：1555mm(奥行)

2) 質量

98 kg

** 6. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類：クラス I

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：B 形装着部
水の有害な侵入又は微粒子状物質の有害な侵入に対する
保護等級による分類：IPX1 (フットスイッチ)

【使用目的又は効果】

手動又は電動等で駆動し、耳鼻咽喉科等の診察や治療・処置するために患者を座らせて使用する椅子である。

* 【使用方法等】

1. 椅子本体を平らな床に設置し、電源コードとフットスイッチコードを電源ソケットのコネクタ部に接続する。
2. メインスイッチを ON にし、ランプ(緑色)が点灯し、電源が入ったことを確認する。
3. フットスイッチで昇降電動動作、リクライニング調整レバーでリクライニング手動動作、回転ロックレバーで回転手動動作を行う。

1) 昇降電動動作

a) 上昇

フットスイッチの UP スイッチを踏んでいる間、シートが上昇する。

b) 下降

DOWN スイッチの設定は、以下の 2 種類。

(購入時設定)

イ) フットスイッチの DOWN スイッチを踏むとシートが下降する。下降中に任意の位置で停止させる時は、もう 1 度 DOWN スイッチを踏むと停止する。

ロ) フットスイッチの DOWN スイッチを踏んでいる間、シートは下降する。

2) リクライニング手動動作

必ずバックレストを支えた状態で操作を行ってください。

リクライニング調整レバーを引くとバックレストのロックが解除され、手でバックレストの「起こす／倒す」が行える。レバーを離すとバックレストがロックされ、固定される。

3) 回転手動動作

回転ロックレバーを上方に上げると回転ロックが解除され、手で回転動作が行える。レバーを戻す(下に下げる)と固定される。

4. 支頭器操作

必ず支持アーム及びヘッドレストを支えた状態で操作を行ってください。

1) 関節部の調整

ロックレバーを引くと支持アームのロックが解除され、手で支頭器の前後動作が行える。ロックレバーを戻す(押す)と固定される。

2) ヘッドレスト部の調整

調整ハンドルを左に廻す(緩める)と手でヘッドレストの上下動作が行える。調整ハンドルを右に廻す(締める)と固定される。

* 【使用上の注意】

その他の注意

- 1) 強い電磁波を発生する機器(電気メス等)の使用時は、本装置の電源を OFF にすること。[誤作動を起こすおそれがある。]
- 2) 本装置に弊社指定外の機器やアクセサリを接続する際は、事前に弊社へ必ずご確認ください。
- 3) リクライニング動作を行う場合は、必ずバックレストを手で支えた状態で動かすこと。

***【保管方法及び有効期間等】**

1. 保管方法
保管環境条件
温度:10～40℃、湿度:30～75%
2. 耐用期間
使用開始から7年とする(自己認証による)。

****【保守・点検に係る事項】**

1. 清掃
 - 1) 塗装面及びレザー面は、布等を水又はぬるま湯に浸してよく絞ってから拭き、さらに乾いた布等で乾拭きをすること。汚れがひどい場合は、市販の家庭用中性洗剤を布等に浸けよく絞ってから拭くこと。
 - 2) 本装置の設置付近は、ホコリ等が溜まらないように常に清潔な状態を保つこと。
 - 3) 本装置の周辺を清掃する場合は、必ずよく絞ったモップ等で清掃を行なうこと。
 - 4) 長い期間使用しない場合は、布又はビニール袋で覆って、保管すること。
 2. 消毒
 - 1) 消毒を行うときは、必ず先に家庭用中性洗剤等で清掃を行ってから、消毒すること。清掃しないで消毒を行っても、十分な殺菌効果は得られない。
- ** 2) レザー面の消毒は、「消毒用エタノール(日本薬局方規格)」、「クレゾール石鹼液を50～100倍に希釈したもの」、「塩化ベンザルコニウム液、オスミン10%消毒剤を100～500倍に希釈したもの」を使用すること。**
- ** 3) 塗装面の消毒は、「クレゾール石鹼液を50～100倍に希釈したもの」、「塩化ベンザルコニウム液、オスミン10%消毒剤を200～500倍に希釈したもの」を使用すること。**

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者



永島医科器械株式会社

TEL.03-3812-1271

製造業者

**永島医科器械株式会社 第二工場
永島医科器械株式会社 第三工場
雪ヶ谷精密工業株式会社**